

# のぼりぐわ 広報



## 特集

- ◆ 市民意識調査の結果概要報告
- ◆ 生涯学習
- ◆ 国際交流
- ◆ リサイクル
- ◆ きらり障害者スポーツ大会  
砲丸投げ優勝  
明道岩造さん

8/1  
1995  
No.538

# 第2回 市民意識調査結果報告

「登別市に一生住みたいと思う人は約6割」  
 「余暇はテレビと買い物で過ごす人が過半数」  
 「ボランティア活動をしたことのある人は約3割」

この調査は、市が現在策定作業を進めている新しい総合計画やこれからの市政運営に市民のみなさんの考えや要望をより一層反映させるため、平成4年12月に実施した第1回の調査につづき、第2回目として昨年12月に行ったものです。このたび、その調査結果がまとまりましたのでお知らせします。

調査の対象者は2千69人で、住民基本台帳の中から年齢別・地区別の人口割合により設定した20歳以上の市民4万4千394人の中から無作為に抽出し、郵送により調査を行いました。

質問数は23問、有効回答率は48・8割（千人）でした。

以下、調査結果の概要は次のとおりです。

## ●地域への愛着度

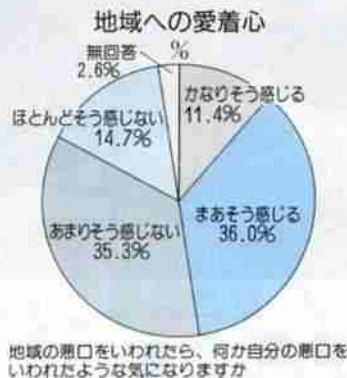
「あなたは、登別に一生住みたいと思いますか」という質問に対し、思うと答えた人は全体の61・5割で、思わないと答えた人（14割）を大きく上回っています。

ただし、年齢により差が大きく、一生住みたいと思う人は20代で30・8割なのに対し、70代以上で83・3割という結果が出ています。

全体的には前回と同様な結果となっていますが、20代、30代の永住意向は10割ほど伸びています。

「地域の悪口をいわれたら、何か自分の悪口をいわれたような気になりますか」という質問に対し、

かなりそう感じる、まあそう感じる」と答えた人は前回の調査では53・9割だったものが、今回は47・4割となり、あまりそう感じない、ほとんどそう感じないと答えた人は50割となっています。



## ●居住環境・生活環境

生活関連施設とサービスについての質問で、現状で満足しているという回答が多かったのは「消防車、救急車などの対応」、「予防接種や検診などの保健活動」、「日用品の買い物の便利さ」、「ゴミの収集について」、「小中学校の校舎の整備」、「地域の集会所」、「交通安全施設について」、「街の中の緑（街路樹など）」、「高齢者の施設やサービス」、「防犯の状況」、「車の便、バス停」で、逆に不満を感じているとの回答が多かったのは「娯楽施設」、「道路舗装や排水施設の状況」、「除雪（道路や歩道）」、「文化教養施設を高める施設や事業」、「スポーツ振興の施設

や事業」、「心身障害者の施設やサービス」、「児童公園などのこどもの遊び場」でした。

## ●余暇

「どのようなことをして余暇を過ごしていますか」という質問では、前回と同じく「テレビを見る」、「買い物」などの答えが過半数を占めています。また、「今後はどう過ごしたいと思いますか」では、男女・年齢（70歳以上を除く）を問わず「旅行」という回答が第1位を占めています。

## ●観光

「温泉観光地としてのイメージについてどう思いますか」という質問に対する回答では、「大変誇りに思う」が20・5割、「地域のPRになるのでよいと思う」が36・3割となっています。「もっとと全市的なイメージが必要」と答え



た人も24・2割になっていきます。前回との比較では、「大変誇りに思う」が22・7割から20・5割に減、「地域のPRになるのよいと思う」が40・2割から36・3割に減っているのに対し、「もっと全市的なイメージが必要」は22・5割から24・2割に増えてい

## ●地域社会

「近所づきあいをどの程度されていますか」という質問では、「あ



地域の人のまとまりについての質問では、前回はまとまりは良いと感じている人が50割を超えていました。今回は44・6割、良いと感じていない人は49・4割で

した。

地区別では、幌別西地区、登別温泉・カルス地区、美園・上鷺別地区でまとまりは良いと感じている人が多く、幌別鉄南地区、新生・若草地区などで良いと感じていない人が多い結果となっている

また、地域の生活環境についての質問では、「ゴミの始末や家のまわりの清掃」「ピアノ、ステレオ、自動車の騒音」「障害者やお年寄りに対するおもいやり」などで「良い」「まあ良い」の回答が6割を超え、最も評価が低かったのが前回と同様、「路上駐車や自転車の置き方」でした。

## ●ボランティア活動



「現在ボランティア活動をしていますか」という質問で、「活動したことはない」という回答が68・3割で、「現在活動している」(9・2割)、「過去に活動したことがある」(20・5割)を大きく上回っています。

ボランティア活動の経験を男女別で見ると、男性が多く、年齢では高齢になるほど多くなりまし

## ●福祉



「障害を持つ人にとって住みよ

## ●少子化

日本の出生率が近年低下の傾向を示している状況、いわゆる少子化の質問に対し、全体では、「国の活力が失われるのはよくない」(44・8割)、「社会的環境が悪いので仕方がない」(37・4割)、「夫婦の自由だから問題ない」(35・4割)、「労働力の確保のために増やすべき」(20・9割)と答えており、社会の活力を維持するためにこどもを増やす政策を望む意見と、社会環境の悪さや個人の自由を尊重するために少子化はやむを得ないという意見に分かれてい

ます。

また、年代別にみると20歳代から40歳代までの若い年代では少子化を容認する意見が多く、50歳代から70歳代以上の高齢代では少子化はよくないとする意見が多くな

## ●KPI値

これからの登別市のまちづくりでは、何に力を入れたらよいかの質問では前回同様、「道路舗装や排水施設の整備」「下水道の整備」「老人福祉の推進」という回答が上位を占めています。



## ●買い物動向

日用品を除く買い物の場所をたずねたところ、全体では、「驚別・新生・若草地区(38・7割)」が第1位、次いで「室蘭市(25・3割)」、「幌別地区(15・5割)」となっています。

若草地区」はどの地区でも上位を占めています。



## ●市政一般

日ごろから市政について知りた

男女別にみると、男性は特に長期計画など市政の長期的な分野に関心が高く、女性は市の施設やその利用方法など日常的な分野や市政全般にわたって広く関心を示していることがわかります。

以上が、今回の調査の大まかな結果です。この結果を見て、みなさんはどう思いましたか？

広報のほりべつでは、この結果に対するみなさんの意見も市政に反映されるべき重要なものと考えています。みなさんからの意見、感想をお待ちしています。

なお、調査結果の詳しい内容については、市役所企画調整室(85)1122へお問い合わせください。



# 生涯学習のひろがり

今号の特集でみなさんにお知らせした「市民意識調査」の中で、生涯学習について、「生涯学習をしたことがある」と答えた市民は全体の30%で、「特にそういふことをしていない」が57・2%と半数以上を占め、「自分のしていることが生涯学習と言えるのかどうかかわからない」と回答した人が7・9%という結果になりました。

## 生涯学習って何？

今日、わたしたちのまわりでは生涯学習に対する気運の高まりが見られる一方で、「生涯学習って何だろう?」という疑問の声や、「自分がしていることが生涯学習と言えるのかどうかかわからない」という声が多く聞かれましたので生涯学習について簡単に説明します。

わたしたちは、生まれるとすぐに、家庭を中心として学習を始めます。やがて、学校に通い学習を進めるとともに、地域社会でもいろいろな学習機会に出会い、学習することがらを広げて行きます。さらに、学校を卒業して社会に

出ると、仕事にかかわる学習や、豊かで充実した人生を送るための学習を続けることとなります。

物の豊かさを求める時代から、心の豊かさを求める時代へと変わり、人間性の豊かさを求める意識が高まってきているのと同時に、人生80年時代を迎え、人々が長い

社会生活を送る上で、複雑化と進展が著しい社会の変化に対応するために、絶えず新たな知識や技能を習得していかなければならなくなってきています。

そのため、人々が自主的に、自分に合った手法や方法を選び、生涯にわたって学習することが必要になっていきます。

## 登別市の生涯学習

生涯学習という言葉を聞くと、なにやら堅苦しい感じを受ける人もいると思いますが、教養や技術のほかに、趣味やスポーツ、文化活動、ボランティア活動など、その人が自主的に何かを学ぶこと全てが生涯学習に含まれています。ところで、「特にそういうこと

をしていない」と回答した人にその理由を質問したところ、「仕事・家事で時間がない」などの時間に関する理由が一番多く、次いで「きっかけがない」、「情報が入手できない」などの回答が多く見られました。



民の中には生涯学習が発展する大きな力が潜在していることがわかりました。

今後は、今回のアンケートの結果も踏まえ、その方法や、内容を検討した上でこれまでよりいっそう力を入れて取り組んでいかなければならないと考えています。

生涯学習は、組織的な学習活動だけでなく、一人一人が身近なところから行動することが大切です。市教育委員会生涯学習推進室ではみなさんの生涯学習参加のきっかけ作りと、生涯学習活動のお手伝いを行っています。

生涯学習に関する質問や意見、要望など、みなさんの声をどしどしお寄せください。お待ちしております。

「何か学んでみたい」「趣味のグループやサークルを紹介してほしい」「活動できる場所を教えてください」「催しものは、いつ、どこで行われるのかしら」「仕事に必要な資料を取りたいけど、どこへいけばいいかわからない」など、学習に関する疑問や悩みは、まず、ご相談ください。

## 生涯教育推進室

(市民会館・教育委員会内)  
☎881100

## 生涯学習

### 実践発表会

市内で開催されている生涯学習に、実際に取り組み、参加されている方々の実践を多くのおみなさんに参考にしていただくため、生涯学習実践発表会を開催します。

▽日時 平成7年9月1日(金) 14時～16時30分

▽場所 登別市民会館 中ホール  
▽実践発表者 文化協会会長 諏訪 英雄さん、登別市シルバー人材センター理事長 中村 義勝さん、登別市ライフケアを考える会代表 星川 光子さん、老人大学推薦 宮城 隆さん

▽問い合わせ 教育委員会 (☎881100)

この催しは、今秋開催される第7回全国生涯学習フェスティバル(札幌大会)の協賛事業です。

## まなびぴー'95





国際交流

# グローバルコミュニティ(地球社会)を目指して……

## あなたならどうする?

「あなたは、たとえば道路で外国人に英語で道をたずねられた場合、どのように対応しますか」

これは、今回の市民意識調査の中の質問の一つです。

この質問への回答は次のような結果になりました。

### 調査結果

- ① 無回答 4・4%
- ② 英語で答える 3・1%
- ③ 身振り、手振り 59・9%
- ④ 別の人を探す 22・7%
- ⑤ 逃げる 9・9%

## 国際交流って何?

1980年代後半から、ヒト・モノ・カネ・情報などが国境を越えて飛び交うようになりました。この結果、好むと好まざるにかかわらず外国人と交流する機会が多くなってきました。

民族や文化の違った人々との交流を通して地域のアイデンティティを発見したり、外国人に対する

偏見を無くしながら相互理解を深めていくことが国際交流の目的です。これは、究極的には世界平和へとつながっていくものです。

登別市では地域の国際化の一環として中学生を海外に派遣したり、のほりべつ国際交流会が実施しているデンマーク研修生受け入れ事業を支援するなど積極的に取り組んでいます。

## 中学生海外派遣事業

登別市の次代を担う青少年が諸外国の生活や異なる文化に接することにより、国際理解を深めるとともに、国際社会に対応できる豊かな人間性を身につけることを目的として中学2年生を対象に平成4年から登別市が実施しています。毎年、8月の夏休み期間中に、約10日間の日程でデンマークでのホームステイによる生活体験や姉妹校などとの交流をするほか、訪問都市の視察などを行います。

## 外国人研修生受け入れ事業

日本の生活習慣や文化を学ぼうとする意欲のある外国人を研修生として受け入れることを通じて、地域の国際交流を推進する事を目的として市民組織「のほりべつ国際交流会」が実施しています。

## メッテとアンネです

今年もデンマークからの研修生としてメッテ・スロツツさん(20歳)とアンネ・サンデル・マークさん(20歳)の2人がやってきました。

2人は登別市民宅でホームステイをしながら英語指導、日本文化体験、市民との交流など、毎日新しい発見をしながらワクワクとした日々を送っているそうです。

## メッテ・スロツツさん

趣味・特技 絵を描くこと、ハンドボール、体操



将来の希望 英語の先生  
「日本人は心が広くてとても親切にしてくれるので、うれしいです」

## アンネ・サンデル・マークさん

趣味・特技 絵を描くこと、バドミントン



将来の希望 物理療法士  
「日本はデンマークとはまったく違うのでワクワクしています」

## 伝え、学んで来ます!

8月18日にデンマークへの出発をひかえて、英会話やデンマークの文化などを勉強中の海外派遣中学生7名にその意気込みを聞いてみました。

「私は登別市の代表だということをお忘れずに交流を深め、多くのことを学んできたと思います」



やよい 火山  
鞆別中学校

「今回の派遣で、文化や生活を学び、多くの人と会話がしたいです。そして、登別の自然や文化を伝えたいです」



優美 安山  
登別中学校

「みんな初めての事ばかりなので、いっぱい学んで、楽しみながら、有意義な経験にしたいです」



綾子 酒井  
鞆別中学校

「デンマークでの、ホームステイで、その国の生活のしかたや文化を、実感し、これからの生活にいかしたい」



恭介 相澤  
登別温泉中学校

「私はこの海外研修で、一つでも多くのことを体験し、少しでも日本や登別のことを伝えられたらなと思います」



麻世 中村  
緑陽中学校

「学校代表ということを感じて、行くことのできなかつた人達のおかげで一生懸命勉強して来ます」



美衣 八重樫  
緑陽中学校

「私はこの海外派遣で、行くまでに少しでも多く英語を勉強しホームステイ先の人達と仲よくなりました」



志穂 平井  
西陵中学校

♥ごみの減量と再利用をすすめるために……………

# 地球のルールリサイクル

私たちが、毎日出すごみの中には、資源として使えるものがたくさんあります。これらの資源をごみとして捨ててしまわないでください。

## 登別方式資源リサイクルシステム

登別市ではごみの減量と再利用のために「登別方式資源リサイクルシステム」が行われています。この方式では、回収資源を第1種と第2種に分けて回収しています。

※第2種回収資源のドラムカンの中に、生ごみや犬のふんなどが入れられ回収作業に支障をきたしています。また、資源として活用できなくなることがありますので、出し方のルールを絶対守りましょう。

### 第1種回収資源

第1種回収資源とは、新聞紙・雑誌・段ボール・生きビン・衣類牛乳パックなどで、従来どおり町内会が実施している方法で資源回収業者が回収しています。



### 第2種回収資源の種類と出し方

種類	回収	回収する物	出し方
金属類	毎月5日		<ul style="list-style-type: none"> <li>●冷蔵庫・洗濯機・テレビ・掃除機などの家電類は金属類がほとんどないので出さないでください。</li> <li>●自転車はタイヤを外して出してください。</li> <li>●あき缶・雑ビンポストの横に出してください。</li> </ul>
あき缶	毎月15日・月末		<ul style="list-style-type: none"> <li>●缶の中に物を入れないでください。</li> <li>●缶は中を軽く洗ってから出してください。</li> <li>●スプレー缶は危険なので穴をあけてから出してください。</li> <li>●アルミ缶とスチール缶の区別は不用です。</li> <li>●缶は圧縮しないでください。</li> </ul>
雑ビン	毎月25日		<ul style="list-style-type: none"> <li>●ビンは中を軽く洗ってから無色透明・茶色・その他の色の3種類に分けて出してください。</li> <li>●口金を取って出してください。</li> <li>●ビンの中にもものを入れないでください。</li> <li>●黒色のビン・窓ガラス・耐熱ガラス・瀬戸物は出さないでください。</li> </ul>

※第2種回収資源の回収日とは、町内会で決めた集積場所に設置してあるあき缶・雑ビンポスト（ドラムカン）からリサイクル協会が回収する日です。



あき缶、あきビンは  
ポイ捨てせず  
リサイクル!

問い合わせ 環境衛生課 ☎852958

# 平成8年度登別市職員を募集

## 1 採用職種・採用予定人員

職	種	試験区分	採用予定人員
技術	土木	大学・短大卒業	2名程度
	保田	短大卒業	1名程度
消	防	短大・高校卒業	2名程度

\*平成8年度の行政(事務)の募集はありません。

## 2 受験資格

職種	試験区分	要件
土木 ・ 保田	大学卒業	大学を卒業または平成8年3月卒業見込みの方で昭和40年4月2日から昭和49年4月1日までに生まれた方
	短大卒業	短期大学もしくは同程度の専門学校を卒業または平成8年3月卒業見込みの方で、昭和45年4月2日から昭和51年4月1日までに生まれた方
消 防	短大卒業	短期大学もしくは同程度の専門学校を卒業または平成8年3月卒業見込みの方で、昭和44年4月2日から昭和51年4月1日までに生まれた方
	高校卒業	高等学校を卒業または平成8年3月卒業見込みの方で、昭和44年4月2日から昭和53年4月1日までに生まれた方

## 3 試験日・場所・試験科目

区分	職種	試験科目
第1次試験 9月17日(日) 登別市民会館	技術(土木)	教養、専門(土木)、作文、適性検査
	技術(保田)	教養、専門(保田)、作文、適性検査
	消 防	教養、作文、適性検査
第2次試験 10月下旬予定	土木・保田	面接、健康診断書審査
	消 防	面接、健康診断書審査、体力検査

4 受験申し込み 受験申込書に必要事項を記入、書類添付のうえ申し込みください。  
なお、試験実施要綱及び受験申込書は職員課・各支所にあります。

\*申込書を郵便で請求する場合は封筒の表に「受験申込書請求」と朱書きし、あて先を記入した返信用封筒(定形)、80円切手を必ず同封してください。

5 申込受付期間 8月1日(火)から8月18日(金)(消印有効)まで 9:00~17:30(土・日・曜日は除きます)

6 申し込み・問い合わせ 職員課(本庁3階)  
(〒059 登別市中央町6丁目11番地)  
☎⑩1132 内線326・327

## 富浦墓地行き<8月13日(日)~8月16日(水)>

### 無料墓参バスを運行します!

▷問い合わせ 市民課(☎⑩1855)

①上鷲別・鷲別地区発

②若草・幌別地区発

③幌別・登別地区発

◆13日午前の便は2台運行します◆

〈行き〉	(13日~16日)	(13日のみ)
トヨタ上鷲別寮	発	10:00 13:00
松木商店前		10:02 13:02
鷲別中学校前/バス停		10:06 13:06
鷲別小学校前/バス停		10:07 13:07
東鷲別/バス停		10:08 13:08
はまなす団地/バス停		10:09 13:09
帝国酸素/バス停		10:11 13:11
西富岸/バス停		10:13 13:13
富岸/バス停		10:15 13:15
開発局前/バス停		10:16 13:16
あかしや団地/バス停		10:18 13:18
幌別本町/バス停		10:23 13:23
市役所入口/バス停		10:24 13:24
富浦墓地	着	10:30 13:30

〈帰り〉	(13日~16日)	(13日のみ)
富浦墓地	発	11:30 14:30

〈行き〉	(13日~16日)	(13日のみ)
上鷲別入口/バス停	発	10:00 13:00
旭ヶ丘団地/バス停		10:01 13:01
若草入口/バス停		10:02 13:02
若草中央/バス停		10:03 13:03
緑ヶ丘団地/バス停		10:04 13:04
千代の台団地/バス停		10:05 13:05
新生町1丁目/バス停		10:06 13:06
新生町2丁目/バス停		10:07 13:07
富岸小学校/バス停		10:08 13:08
道南バス若山営業所/バス停		10:09 13:09
総合体育館前/バス停		10:10 13:10
桜木団地/バス停		10:13 13:13
緑町2丁目/バス停		10:14 13:14
登別大谷高校前/バス停		10:15 13:15
阪井商店前		10:17 13:17
みゆき旅館前		10:20 13:20
旧NTT登別営業所前		10:21 13:21
市民プール/バス停		10:24 13:24
千歳4丁目/バス停		10:25 13:25
富浦墓地	着	10:35 13:35

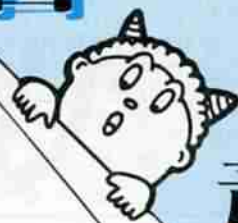
〈帰り〉	(13日~16日)	(13日のみ)
富浦墓地	発	11:35 14:35

〈行き〉	(13日~16日)	(13日のみ)
登別高校/バス停	発	10:00 13:00
幌別西小学校/バス停		10:01 13:01
市民会館/バス停		10:02 13:02
ホームストア幌別店/バス停		10:03 13:03
社宅十字街/バス停		10:04 13:04
中央町5丁目/バス停		10:05 13:05
幌別小学校/バス停		10:06 13:06
幌別東小学校/バス停		10:08 13:08
ソーダー工場前/バス停		10:09 13:09
三洋工業前/バス停		10:10 13:10
幸町3丁目/バス停		10:12 13:12
すずらん団地/バス停		10:13 13:13
富浦/バス停		10:15 13:15
登別駅前/バス停		10:20 13:20
登別/バス停		10:21 13:21
登別中学校前/バス停		10:22 13:22
登別小学校前/バス停		10:23 13:23
富浦墓地	着	10:25 13:25

〈帰り〉	(13日~16日)	(13日のみ)
富浦墓地	発	11:25 14:25

\*午後の便は、13日だけの運行となります。(14・15・16日は、午前のみ運行)

◆供物などはお持ち帰りください!◆  
墓前の供物などは、供えたままにしておきますと、カラスやキツネなどが食い荒らし、墓石やお墓の周りをよごしますので、お持ち帰りいただきますようお願いいたします。



## みんなの願い星までとどけ ～第8回 驚別七夕まつり～

子供達の願い事がかわいい文字で書かれた千300枚もの短冊が飾り付けられ、第8回驚別七夕まつりが7月6日から2日間の日程で驚別町・新和デパート前通りで行われました。

子供達は16店の手作り出店に大喜びで短冊のトンネルをいったり来たり。わたあめ、ヨーヨー、くじ引きなど手作り緑日を楽しんでいました。



## 米国で登別をPR

～パトリックさん 鬼大使に～



AET (英語指導助手) のクリステイン・パトリックさんが、6月で2年間の任期を終え、母国アメリカへ帰ることになり、登別ふるさと大使 (通称 鬼大使) に委嘱されました。

上野市長から鬼の面が張ってある盾とはっぴを受け取ったクリステインさんは、流暢な日本語で「どうもありがとうございます」とあいさつし、アメリカでも登別のPRに努めることを約束していました。

## 私が見た登別

北海道の人は親切ですね。



しまおか くにこ  
島岡 邦子さん  
(中央町)



—いつ登別に来ましたか？  
平成5年3月に北海道で教師になるために来ました。

—それまではどこに？  
神奈川県横浜市です。中華街や元町など有名ですね。

—登別を知っていましたか？  
胆振も登別も知らなくて、地図でさがすのも難しかったですね。知り合いの方から、温泉とクマ牧場があることは聞いていました。

—登別に住んでみての感想は？

やさしい人が多いですね。お店屋さんで無いものがあると、わざわざ探して取り寄せてくれたり、とても親切ですね。

子どもたちも人なつこくてかわいいですね。初めのころは「したっけね」の意味がわからなかったんですけど…。

食べ物北海道のものももつと食べられるかと思っていましたけど、ここで作られたものは少なく、新鮮なものが食べられないのは残念ですね。

—登別に望むことは？  
給食をもっと考えてほしいです。からだは食べ物で成り立っているんで、子どもたちに「命のもとだから残さず食べなさい」と言えるような、おいしい給食にしてもらいたいですね。

〈市民リポーター 山本久美子〉





## 18年の努力の結晶!!

「驚別連合町内会が驚別川清掃で  
日本河川協会から表彰」

登別市内には、川を由来にした地名が多くあります。

例えば、驚別はチワシベツ（波立つ川）から由来していることが定説となっています。

この、驚別地区の8町内会約2千世帯でつくる驚別連合町内会が日本河川協会の平成7年度河川功労者として道内からただ1団体表彰を受けました。

町内会を流れる驚別川の清掃を始めたのは昭和52年からで、当時は違法投棄が多く、自転車、タイヤ、洗濯機にいたるまで川に散乱し、ひどい状態だったそうです。

その様子に見かねた八つの町内会が立ち上がり清掃に乗り出しました。以来、現在まで毎年7月の驚別川清掃は続けられています。

清掃を始めた当初は心ない人とのイタチごっこが続いていましたが、2、3年たったころから効果が現れ始め、今では大きなごみを捨てる人は本当に少なくなりました。

同連町の会長、高橋豊さんは「とにかく住民みんなの努力のた

まものです。このような取り組みは、何よりも継続することが大切です。継続していけば自然と意識も変わってきますからね。今後地域住民一丸となって頑張ってください。」と語ってくれました。

このような活動は徐々に全市に広がっています。本当に美しい川の町登別を市民一丸となって守り続けましょう。

### 消防庁長官 表彰



あくついちろう  
阿久津一郎さん  
(登別東町・65歳)

前登別市消防団長の阿久津さんは、昭和35年から34年間にわたり消防団員として消防精神に徹した職務や消防団の育成に対する優秀な活動が評価されて、消防庁長官表彰を受賞しました。

昭和39年の加車山の大山林火災、同55年の大雨洪水などの災害救助や災害復旧、団員の教養訓練、消防団の運営強化などに尽力されました。

## 仲間たち

子ども お母さんも一緒に楽しく



子育てサークル・ピーターパン  
代表 川島育子さん  
(☎06-1284)

子育てサークル・ピーターパンは、昭和63年に市が行った子育てセミナーに参加したお母さんたちが、「このまま終わりはもつたない。ぜひ継続したい」という気持ちから、結成しました。

対象は幼稚園入園前の子供とそのお母さんで、現在、会員は大人39名、子供が47名の大所帯で、驚別公民館を拠点に毎月第1第3金曜日に活動を続けています。

1回の活動時間はおおよそ2時間で、体操や手あそびを行った後、当番のお母さんが考えて準備したレクリエーションを親子で楽しめます。

また、夏には公園などの屋外で行うことも多く、お誕生会や、おひなさま、クリスマスなどの季節のイベントも多く行っているそうです。

代表の川島育子さんは「家庭では、家事などに追われて子供と向き合う時間があまり取れなかったり、いざ一緒に遊ぼうとしたときに、何をしたらいいのかわからないことが多くあるので、そのきっかけづくりをお手伝いするのがこの会の活動です。

お子さんと向かい合ってお母さんも一緒になって楽しめる時間になってほしいです」と、話してくれました。

# わたしの趣味

## 郵 趣



ひろま 平 間 寛 さん  
(千歳町)

平間さんの趣味は切手やハガキを集めたり記念スタンプや日付印を集めたりと幅広いもので郵趣と呼ばれています。

収集の仕方、楽しみ方もそれぞれだそうです。

平間さんは、皇太子の奉祝記念など、その時々のお話を趣味をいかしながら独自の方法でファイルし記録として残しています。その何冊かを見せていただきましたが、記念の日付が押印されたハガキに記念切手や新聞記事を添えるなど工夫をこらしながら丁寧に整理されていました。

「お金をかけてこんなものを集めて何になるんだといわれるかもしれませんが、集める者にとっては、もう二度とない貴重なものばかりなんです」と嬉しそうに話してくれました。趣味に関するエピソードも豊富で、その中でも平成2年には市内の郵便局を一日かけて自転車ですべて回った



▲リーフに整理された作品の一部

そうです。いったところで郵便局の写真を取り台紙に切手をはって、その郵便局でスタンプを押してもらったそうです。「登別郵便局をスタートに釧山、カルルス、登別温泉と簡易郵便局まで市内をくまなく回りました。もうたくさん、よく回りましたよ」

平間さんは「登別郵趣の会」の会長でもあり、郵便局が開催する切手教室の手伝いや市民文化祭の切手展など、会としてもさまざまな活動を行っています。

「これからも、機会があれば集めたものを多くの人に見てもらいたいです。自分だけで楽しんでいるのは、宝の持ち腐れになりますからね」と優しく話してくれました。

048)まで。

登別郵趣の会では会員を募集しています。希望者は平間さん(☎5

## ゆけむりネットワーク 登別応援団

### 私の提案—

### 「情報発信基地 登別」の構築



やま や よし ひろ 山 谷 吉 宏 さん  
(札幌市在住)

昭和55年北海道職員採用  
昭和55年～昭和59年胆振支庁  
現在、本庁商工労働企画課  
企画係長  
道庁のほりべつ友の会会長

「道庁のほりべつ友の会」に発足当初から参加して、市民のみならずの登別発展への意気込みには頭の下がる思いです。登別を応援する一人として、今後の議論に向けて一点だけ述べさせていただきます。

それは、「情報発信基地 登別」の構築です。真の情報発信は、高価なネットワーク化や人が集まるだけの単発のフォーラムなどではなく、地域の蓄積の上に生まれまします。失敗も成功も含め、自らの取組みを分析し、知恵として蓄積する。そのことが人々の関心と呼び、「求められること」による情報発信を可能にし、新たな知恵の蓄積につながります。

登別は、既にそれができる段階に達していると思います。計画作りの新手法や民活による観光振興、自然と調和したカルルス開発など、これまでの取組みを整理し、地域政策として体系化する。それをインターネットやパソコン通信など



▲「道庁のほりべつ友の会」の様子

のネットワークに乗せてみる。このことが知恵の共有による新たな地域関係構築、次の活力を生み出します。

計画策定も最終段階と聞いています。計画は、ほっておくと出来た時から陳腐化します。皆が汗したせつかくの試みです。その苦勞を生かすためにも、新たに「情報発信基地 登別」を提案します。

登別郷土文化研究会 宮武 紳一

## カルルス町を訪ねて(2)

### カルルス温泉の開業

カルルスの地名は、ドイツ以前のプロシヤ王国時代に伝統ある貴族カールス家の名称をとったものであることは前号で述べた。さて、明治32年に開業したカルルス温泉について、同年8月10日の「北海道毎日新聞」、現在の北海道新聞に「カルルス温泉の開業」の見出しをつけて掲載されているのでその一部を紹介しよう。

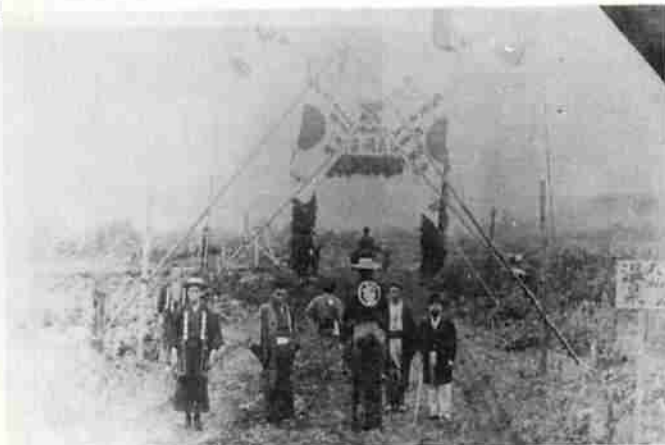
11日)なるを造築す。

カルルス温泉の開業式には、幌別停車場をさる約3町(約3300)の所に緑門(アーチ)を建設し各国旗、球燈(電球)を以て飾り、中央に「幌別・カルルス開業式」と大書せる扁額と大旗を掲揚せり。幌別停車場で遠来の来賓を迎え幌別丸仙旅館を休息所にし、数台の馬車と数10頭の乗馬を備えたり。定刻に至るや、村落有志者、輪西・室蘭・白老・苫小牧、遠く札幌・小樽より続々とカルルスに來り、幽境の地も人馬を以て充たされ熱烈な祝いの巷を現出せり。

と詠じたのが紹介されている。当時、カルルスへの道は、幌別駅から日本工學院、ゴルフ場の方を通る「札内道路」であった。札内道路は、明治20年(1887)軍事と開拓を兼ねて設置された、輪西屯田兵の保養地が札内に設けられた時のうつつ蒼たる森林の中の草分け路で、後に民有地に払い下げられ、香川県人ら10数戸が入植し人と馬が通れる程の路が幌別駅に通じていた。温泉開業で修復されたものの、カルルス温泉への路は依然として遠かった。

一方、登別温泉からカルルス間の道路も計画されていたが仲々実現されず、それが明治42年(1908)突然開設されたのである。

その理由は、当時の登別温泉は日露戦争の傷病兵療養所として陸軍省から指定されていたが、傷病兵の一部をカルルス温泉で療養させていたのである。ところが、お国の為に尽くした帝国軍人の傷病兵を馬に乗せてカルルスまで運ぶことは大変で、此の頃の毎日新聞も「札内道路は距離遠く山中曲折し、修理も不行き届き悪しきこと云々」と批判し、陸軍省の鶴の一声で登別温泉からの道路が現在の道路より山際に造られた(旧道)。ちなみに「カルルスでの傷病兵16名。更に11名の増加をみている」と北海タイムスが報じている。



▲97年前、幌別停車場側に設けられたカルルス温泉開業式のアーチ

胆振国幌別停車場から、約3里(約12)の山中に於て、日野久橋、市田重太郎の二氏、カルルス温泉の湧出せるを発見し苦心経営の経果、さる8月6日を以て開業の式を挙げたり。同温泉は、去る5月15日道庁の許可を得て、ただちに幌別から道路の測量と開削に従事し、僅か80日を以て総延長6千33間(約11)のうつつ蒼たる深林の未墾地に道路を開設せり。道路開削と同時に、旅館を建築し名づけて「亀谷」と称す。前面は登別川上流で、名づけて「千歳川」と云い、川に橋を架け「寿橋」と稱す。橋を渡れば、新発見のカルルス温泉こんこんと湧出するあり。湯槽は4間(7.2)に6間(約

開業式は正午過ぎ、旅舎前面の広場に於て行ない、片倉男爵・小林札幌郵便局長・室蘭支庁長・赤松戸長・新聞記者ら100余名、來賓諸氏の祝辞、演説10数番、和歌俳句の朗読10数名、祝電は北海道炭鉱鉄道をはじめ20余通、來賓一同寫真をとる。新築各室で祝宴、麦酒と折詰の饗応あり、余興として幌別村ヲカシベツ連中の「獅子舞い」あり。歡を尽くして退散せるは午後5時なり……。

このようにカルルス温泉の開業は広く宣伝され、当時としては如何に盛大であったかが伺い知れる。ちなみに、片倉男爵の和歌は、

強かりしやまの根々こ

かるすの

いで湯の道も開けきめりり

# きらり

## 北海道障害者スポーツ大会

### 砲丸投げ優勝

みょう どう いわ ぞう さん  
**明道岩造**さん  
 (千歳町・63歳)



7月9日稚内市で開催された第33回北海道障害者スポーツ大会において、北海道身体障害者福祉協会登録支部の明道さんが砲丸投げの下肢障害部門で連続6度目の優勝を果たしました。

持ち前のバイタリティーでスポーツに取り組んでいる明道さんに話を聞きました。砲丸投げの道大会記録保持者であり、また平成4年には全国大会優勝の経験もあるとのことですが、砲丸を始めたきっかけは何ですか。

昭和50年に仕事上の事故で左下肢を切断、その後身障登録支部に入会し、スポーツ大会のことを知りました。

走ったり飛んだりすることは不可能と思っていましたので、上半身だけ使ってできる種目というところ、「投てき」しかないなと思います、砲丸投げに取り組みました。

朝1時間の散歩と、バーベルを使つての筋肉トレーニングで体力をつけています。コーチがついているわけではありませんの

で、まったくの我流です。

今後の目標は

年齢的に体力も落ちてますし、来年は新たな種目で挑戦してみたいです。

「これからは、若い人にどんどん大会に参加してもらいたいですね、もうわれわれの時代じゃないですから、後継者が出てくることを期待します」と思いを語ってくれました。

最後に砲丸の練習を見せてもらいましたが、63歳の年齢を感じさせないほど力強く、若々しく感じました。

これから無理をせずマイペースで色々なスポーツにチャレンジしてもらいたいです。



▲トレーニングに励む明道さん

# フレッシュな



あお き けい こ  
**青木桂子**さん

新川町・20歳 株上田商会勤務

6月に入社したばかりの桂子さん。笑顔を大切にしながら、早く秘書の仕事覚えようと、一生懸命です。

一仕事についてどうですか？

先輩たちがやさしいので、やっと職場の雰囲気慣れてきたところですが、でも電話の対応など、まだまだ失敗することがあって大変です。今はまだ秘書の見習いですが、上司の補佐という重要な仕事ですので、緊張感を忘れずに仕事をしていきたいです。

一興味のあることは？

仕事を覚えることに精一杯で、特にやっていることはないですが、仕事上でも必要になるので筆ペン習字を習おうと思

っています。

一休日の過ごし方は？

外に出ることは少ないですね。家で本を読んだりしています。でも、これからは海水浴に行きたいですね。お祭りも楽しみです。

一登別市についてどう思いますか？

生まれ育ったところなので、とても好きです。短大時代は札幌にいたので、戻ってきて本当によかったと思っています。近くに海があるのはいいですね。札幌とちがって空気もさわやかです。

一登別市に望むことは？

アーンズができてとても便利になったので、特に不便を感じることはないですが、遊ぶところがもう少しあればいいなと思います。

まのりから

青年・婦人の国内派遣研修者を募集

教育委員会は、青年と婦人活動のリーダー養成を目的とし、3市（登別、室蘭、伊達）合同の国内派遣研修参加者を募集します。

	青年（男・女）国内派遣研修	婦人リーダー国内派遣研修
研修期間	11月2日（休）～11月5日（日）	11月7日（水）～11月11日（日）
募集人数	5名	4名
研修先	岐阜県高山市、富山県魚津市	埼玉県嵐山町、東京都内
事前研修	10月21日（土）～22日（日） 伊達市朝顔青年の家	9月26日（火）10:30～13:00 朝顔地方婦人会館
事後研修	11月下旬	11月下旬
資格	事前事後研修に参加できる概ね18歳から30歳までの男女で、現在青年団体活動をしている者、若しくは今後青年団体活動に参加しようとする者（学生は除きます）	55歳未満の女性。「婦人の地域活動について」をテーマにレポート（400字詰め原稿用紙2枚）を提出していただきます。
選考方法	市教育委員会にある参加申込書を提出し面接を行います。	市教育委員会にある参加申込書を提出し面接を行います。
募集期間	8月31日（木）まで	8月31日（木）まで
参加者負担金	3万円	3万円

▽申し込み・問い合わせ 社会教育課（☎1100）  
※いずれも研修終了後、レポートを提出していただきます。

戦没者遺族名簿を 整備します

市は、第25回戦没者追悼式を9月1日、市民会館で行います。例年、遺族の方に案内状を差し上げ、参列をいただいておりますが、遺族名簿に登録されていないため案内状が届かないことがありますので、次により遺族名簿の整備を行います。

▽対象遺族

- 最近、他市町村より転入し、遺族名簿登録手続きをまだしていない遺族
- 昨年の戦没者追悼式の案内状が届かなかった遺族

▽申告事項

- 遺族の住所・氏名
- 戦没者の氏名
- 戦没場所・戦没年月日
- ▽申告期日 8月15日（火）
- ▽連絡・問い合わせ 社会福祉課（☎1911）

平和を祈って黙とうを 原爆の日・終戦記念日

8月6日広島市、8月9日長崎市、8月15日東京市、また8月15日の終戦記念日を迎え、原爆死没者及び戦争犠牲者を追悼し、世界恒久平和の確立を祈念するため、次のとおり1分間のサイレン吹鳴を行います。

市民の皆さんにもサイレンと同時に、1分間の黙とうを捧げさせ

ますようお願いいたします。

- ▽日時 8月6日（日）広島市原爆の日 午前8時15分から1分間
- 8月9日（水）長崎市原爆の日 午前11時2分から1分間
- 8月15日（火）全国戦没者追悼式 正午から1分間

シニアスポーツ教室 参加者募集

- ▽日時 8月26日から9月16日までの毎週土曜日13時～15時
- ▽場所 総合体育館
- ▽対象者 40歳以上の市民
- ▽種目 ラケットテニス・グラウンドゴルフなどの軽スポーツ
- ▽申し込み・問い合わせ 8月15日（火）までに総合体育館（☎5552）

第9回 ツール・ド・北海道 レース運営協力員募集

9月11日から9月17日までの日程で行われる「第9回ツール・ド・北海道」が16日に登別市内を通過することになりました。市内走行延長は、鷺別町からオロフレ峠まで約31kmになり、レース運営には200名を超える方々の協力が必要となるため、市民の皆さんから協力員を募集します。

コースに接する道路に立ち、車の誘導や沿道で応援する人の整理

▽実施日 9月16日（土）

- ▽所要時間 午前9時から2時間程度
- ▽募集人員 18歳以上の男女200名
- ▽応募方法 電話及びハガキで申し込みください（住所・氏名・生年月日・電話番号を記入）
- ▽募集締切 8月21日（月）
- ▽申し込み・問い合わせ 企画調整室（登別市中央町6丁目11番地 ☎1122）

市の指名を受けようとする 建設業者のみなさんへ

市に平成7年・8年度の指名願いを提出している建設業者及び平成8年度に新たに指名願いの提出を予定している建設業者は、経営事項審査と経営状況分析が必要ですので、必ず申請してください。

- 経営事項審査の申請
- ▽申請・問い合わせ 胆振支庁建設指導課（☎9131）
- ▽申請期間 胆振支庁の指定日に申請してください。なお、指定日に申請できない方及び指定日の通知を受けていない方は、胆振支庁へお問い合わせください
- 経営状況分析の申請
- ▽経営状況分析は、経営事項審査をする場合に必要書類です。分析には約1か月かかりますので早めに申請してください
- ▽申請・問い合わせ （財）建設業情報管理センター北海道支部（☎011-26688）

となりまち ホットライン



全国からサッカー仲間が集合！自治体職員サッカー選手権大会開催

全国から48チームの自治体職員サッカー選手が集まって熱い戦いを繰り広げます。北海道代表で地元室蘭と登別の市役所が出場します。ぜひ応援してください。また、3日から白鳥大橋のイルミネーションが点灯。5日にはイタンキ浜で花火大会も開催されますので、お楽しみください。

▼競技日程 8月4日（金）10日（木）午前10時キックオフ（開会式は4日午後5時から入江陸上競技場。観覧は5日午後5時会場）

▼会場 入江学生広場ほか会場

▽お問い合わせ 自治体サッカー事務局（室蘭市役所・総務課） ☎1111（内線5211）

伊達市

戦国時代にタイムスリップ 伊達武者まつり開催

武士による開拓の歴史と伝統を今に伝える「伊達武者まつり」。第21回を迎える今年は8月15日（土）16日（日）の2日間開催します。まつりの夜を彩る華やかな武者山車パレードや華やかな伊達騎馬隊パレード、山形県米沢市の古式砲術保存会による実演などが行われます。

ぜひ、歴史のまち伊達での夏まつりをお楽しみください。

▽主な内容 ●武者山車パレード/8月15日（土）午後6時30分～、山下町を出発し、市内を練り歩きます。●伊達騎馬隊パレード/8月16日（日）午後4時から（出陣の儀）伊達1分間。市内凱陣パレードは午後4時30分～。

▽お問い合わせ 伊達市商工観光課（☎014-2660000）

## うらびょうし



## どんな模様ができているかな

表紙の写真は、7月8日に郷土資料館で行われた「絞り染め」の体験学習でのひとこまでです。

ちびっ子からお父さんお母さんまで約20人が参加してヨモギやタマネギを色出しに使用して、模様をつきたい部分を糸で縛り、昔ながらの工程で絞り染めに挑戦。「どんな模様ができたかな」と期待いっぱい笑顔でした。

### 人のうごき

- 人口 57,247(-10)
  - 世帯 22,535(-3)
  - ( )は前月比
- 平成7年6月末日現在

鳥名 オオジシギ(夏鳥)  
観察時期 5月~8月



(文・写真提供 日本野鳥の会会員ヨシキリの会)  
●問い合わせ 伊野さん ☎85-7515

ボクはオオジシギ。はるばるオーストラリアからやって来ました。南半球から北半球までの長い旅だったけど、一服するヒマなく嫁さんさかしに飛び回っていました。

今年は札内の牧草地にめでたく新居を構えただけ、いつ牧草刈りされるかとヒヤヒヤもんだつたよ。ボクのスビヤーク・スビヤークの鳴き声とガツガツガツの急降下する時の羽音は一度聞いたら忘れられないよ。おかげ様でカミナリシギの異名もあるけど、根は温厚な紳士なんだ。行動は夜型なのでヒナ子育て経過はまだまだ秘密のベールに包まれているんだよ。でもボクは人(鳥)よりも目立つ存在なのですぐ見つけられるよ。

札内や富浦の草地の棒杭や電線の上でスビヤークつて聞こえたらボクだからね。

